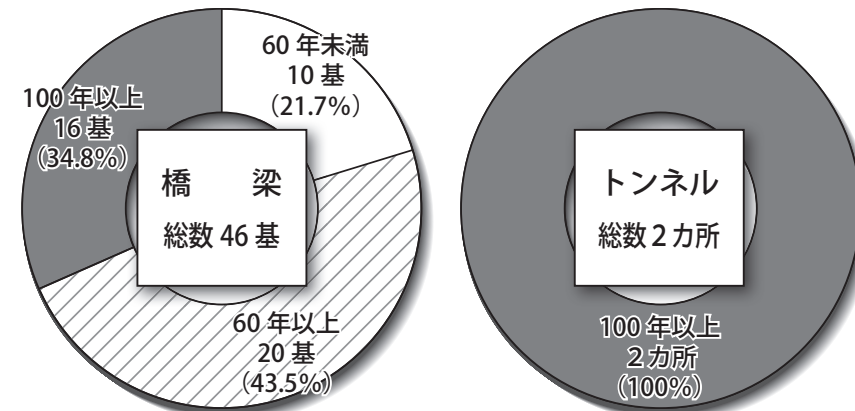


土木建造物の維持更新費用

▼J R北海道では、老朽化が進むJ R留萌線（深川～留萌間）の土木建造物を維持または更新するための費用として、今後20年間でおよそ30億円がかかると試算しています。

■J R留萌線（深川～留萌間）の土木建造物の概況（平成29年1月現在）



J R留萌線（深川～留萌間）の土木建造物のうち、共用開始から60年以上経過しているものが橋梁20基（43.5%）、100年以上のものが橋梁16基（34.8%）、トンネル2カ所（100%）となっています。

■J R留萌線（深川～留萌間）の土木建造物の維持更新費用の試算

種別	項目	費用
橋梁	鋼橋の腐食・亀裂・洗掘対策	8億円
トンネル	覆工材料の劣化・剥落対策	20億円
その他	経年の進行に伴う恒常的な維持管理費用の増加	2億円
合計		30億円

※左記の表は、J R北海道が試算したデータを基に作成しました。また、費用の額は、1億円未満を四捨五入した金額となっています。

J R北海道が実施してきた主な取り組み

▼J R北海道では、J R留萌線の利用促進や経費削減を図るため、観光列車や団体専用車両の運行、全列車のワンマン運行化などに取り組んできました。

J R北海道が実施してきた主な取り組み（J R留萌線関係分）は、次のとおりです。

【J R北海道が実施してきた主な取り組み（J R留萌線関係分）】

- ◎観光列車（SLすずらん号、増毛ノロッコ号）の運行
- ◎団体専用車両（夜高あんどん祭りへの送客）の運行
- ◎沿線観光PRイベントの開催
- ◎全列車のワンマン運行化 など

市では、皆さんと「J R留萌線（深川～留萌間）の今後」について十分に協議しながら、まちや皆さんにとって最善の方向性を示していきたいと考えています。皆さんのご協力をよろしくお願いします。

特集



J R留萌線（深川～留萌間）の現況について②

皆さんとの情報共有を図るため、J R留萌線（深川～留萌間）の乗車状況などについてお知らせします。

問 市・政策調整課 ☎ 42-1809

J R留萌線（深川～留萌間）の乗車状況

▼J R留萌線（深川～留萌間）は、「深川市」「秩父別町」「沼田町」「留萌市」の4市町を通る総距離50.1キロメートルの路線です。また、区間内の駅数12駅、1日の運行本数17本（上り9本、下り8本）となっています。

J R留萌線（深川～留萌間）の平成28年度輸送密度（1キロメートル当たりの1日平均輸送人数）は188人となっており、J R北海道が平成28年に発表した「当社単独では維持困難な線区（輸送密度200人未満の線区など）」の要件に該当しています。

【1日当たりの最多乗車人数】

※平成28年度特定日調査（平日）に基づく

●留萌発 上り列車

①(5:50発)	12人	63人
②(6:47発)	4人	49人
③(8:11発)	14人	23人
④(9:31発)	15人	22人
⑤(12:15発)	4人	5人
⑥(13:30発)	28人	30人
⑦(16:18発)	59人	58人
⑧(18:19発)	12人	12人
⑨(20:20発)	14人	14人

●深川発 下り列車

①(5:44発)	9人	8人
②(8:05発)	13人	13人
③(11:08発)	72人	68人
④(13:23発)	33人	25人
⑤(16:09発)	52人	23人
⑥(18:10発)	48人	12人
⑦(19:22発)	20人	3人
⑧(20:14発)	19人	1人

1日当たりの駅別乗車人数

【1日当たりの駅別乗車人数（平成24～28年度の5年平均、単位：人）】

深川	北一已	秩父別	北秩父別	石狩沼田	真布	恵比島	峠下	幌糠	藤山	大和田	留萌
1,152.6	1.2	58.0	2.8	77.2	1.4	1.4	0.6	0.4	0.2	1.8	70.4

● 10人以上 ○ 1人以上 ● 1人未満

◎深川駅と留萌駅は有人駅です。その他の10駅はいずれも無人駅となります。

※J R北海道では、毎年11月に調査日（平日）を定めて乗車人数の調査を実施しています。
※平成28年度の調査では、J R留萌線（留萌～増毛間）の廃線に伴って利用人数が増えたため、平年よりも乗車人数が増加しました。